

音楽科学習指導案

太田市立鳥之郷小学校 第6学年1組

平成16年10月実施

指導者 教諭 遠藤 美由紀

1 題材名 「日本の音楽を心で感じ取ろう」

鑑賞教材：「春の海」、雅楽「越天楽」

表現教材：「越天楽今様」

補助教材：環境音（校舎内外の音、河原で鳴く虫の声、水琴窟、風鈴、蟬時雨、潮騒、お寺の鐘の音）

2 目標

環境音や日本の音楽を聴くことを通して、様々な環境音や日本の音楽に関心をもち、感じ取ったことからイメージを広げたり、それに合った音楽表現を工夫したりして、音楽と楽しくかかわりながら、日本の音楽を心で感じ取ることができる。

3 題材設定の意図 研究報告書参照

4 題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準

評価の観点	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
歌唱				
器楽	○	○	○	
創作	○	○	○	
鑑賞		○		○
題材の評価規準	様々な環境音に関心をもち、進んで聴き取ったり感じ取ったりし、それを鑑賞や表現の活動に生かそうとしている。	環境音や日本の音楽を聴いて感じ取ったことから自分のイメージをもち、それらを生かした多様な表現の仕方を工夫している。	自由な発想を生かして表現し、自分のイメージに合った音楽表現を楽しむなど、工夫して音楽をつくっている。	日本の音楽を、楽器の音色に気付いたりイメージを広げたりしながら全体的に味わって聴く。
学習活動における具体的な評価規準	①様々な環境音を聴くことに関心をもち、進んで聴き取ろうとしている。 ②環境音を聴く活動で行った感じ方を鑑賞に生かしながら、関心をもって聴こうとしている。 ③自分のイメージを表現するために目当てをもって意欲的に練習に取り組んでいる。	①様々な環境音の音質の違いや特徴を感じ取り、音や音楽から自分なりのイメージをもっている。 ②感じたことを友達と話し合うことによって様々な感じ方があることを知り、感じ方を広げようとしている。 ③自分の表現したい思いやイメージをもち、楽器の組合せや多様な表現の仕方を考えて工夫している。 ④友達の表現のよさや表現意図を感じ取り、自分なりのイメージを豊かに膨らませている。	①声や楽器、環境音などを組合せ、曲の構成などを工夫して、多様な音楽表現を楽しんで演奏している。	①様々な楽器の音の特徴に気付いたり、思いを浮かべたり風景を想像しながら、音楽全体のイメージを感じ取って聴く。

5 指導と評価の計画(全8時間)

ア～エ及び①～④は題材の評価規準との関連を示す

段階	時間	学習のねらい ○学習内容及び学習活動	支援及び指導上の留意点	評価の観点、具体的評価規準 [] は具体的に判断する場面と方法 ◎十分満足できると判断する状況 ●努力を要する児童への働きかけ

<p>環境音を聴く・見通し</p>	<p>◎生活音や自然の音を意識して聴き、音から思いや風景を浮かべ、感じたことを交流する</p> <p>○生活音を聴く。</p> <p>○「河原で鳴く虫の声」を聴いて、聞こえた音や音から感じた思いや浮かぶ風景を短い言葉でワークシートにメモ書きする。</p> <p>○メモ書きした内容を付箋紙に書き取り、グループで交流する。</p> <p>○気付いたことや発見したことをもとに再度音を聴き、新たに感じ取ったことをワークシートに書く。</p>	<p>○るくさの音が聴き取れ、たよる場所に環境を考慮する。音を聴いて感じた思いや浮かぶ風景を短い言葉でワークシートにメモ書きする。</p> <p>○音を聴いて感じた思いや浮かぶ風景を短い言葉でワークシートにメモ書きする。</p> <p>○音を聴いて感じた思いや浮かぶ風景を短い言葉でワークシートにメモ書きする。</p> <p>○音を聴いて感じた思いや浮かぶ風景を短い言葉でワークシートにメモ書きする。</p>	<p>ア①：様々な環境音を聴くことに関して、進んで聴き取ることにしている。[表情や態度の観察][ワークシートの記述]</p> <p>◎様々な音を集中して聴き取るようにしている。[表情や態度の観察][ワークシートの記述]</p> <p>◎様々な音を聴き取るようにしている。[表情や態度の観察][ワークシートの記述]</p> <p>◎様々な音を聴き取るようにしている。[表情や態度の観察][ワークシートの記述]</p> <p>◎様々な音を聴き取るようにしている。[表情や態度の観察][ワークシートの記述]</p>
<p>見通し</p>	<p>◎自然の音や日本の音を聴いて感じたことを交流する</p> <p>○「風鈴と蝉時雨」の音を聴いて聞こえた音や音から感じた思いや浮かぶ風景を短い言葉でワークシートにメモ書きする。</p> <p>○メモ書きしたものを付箋紙に書き取る。</p> <p>○付箋紙を持ち寄り、グループでそれぞれが感じ取った内容を出し合い、内容ごとにまとめる。</p> <p>○気付いたことや発見したことをもとに再度音を聴き、新たに感じ取ったことをワークシートに書く。</p> <p>○いろいろな環境音を聴き、何の音なのかを当てたり、感じ取ったりする。</p>	<p>○思い浮かんだことを何で表現するか、短い言葉でワークシートにメモ書きする。</p> <p>○話し合いをするために付箋紙を使うことを言う。</p> <p>○話し合いをするために付箋紙を使うことを言う。</p> <p>○話し合いをするために付箋紙を使うことを言う。</p>	<p>ア①：様々な環境音を聴くことに関して、進んで聴き取ることにしている。[表情や態度の観察][ワークシートの記述]</p> <p>◎様々な音を集中して聴き取るようにしている。[表情や態度の観察][ワークシートの記述]</p> <p>◎様々な音を聴き取るようにしている。[表情や態度の観察][ワークシートの記述]</p> <p>◎様々な音を聴き取るようにしている。[表情や態度の観察][ワークシートの記述]</p> <p>◎様々な音を聴き取るようにしている。[表情や態度の観察][ワークシートの記述]</p>
<p>日本の音楽を鑑賞する</p>	<p>◎「春の海」を聴いて感じたことを交流し、聴き方の視点や感じ方を広げる</p> <p>○「春の海」を聴いて楽器の音や曲の感じから、思いを浮かべたり風景を想像したりして、感じたことを短い言葉でワークシートにメモ書きする。</p> <p>○メモ書きしたものを付箋紙に書き取る。</p> <p>○付箋紙を持ち寄り、グループでそれぞれが感じ取った内容を出し合い、内容ごとにまとめる。</p> <p>○「春の海」について知る。</p> <p>○気付いたことや発見したことをもとに再度音楽を聴き、新たに感じ取ったことをワークシートに書く。</p>	<p>○自由にイメージを広げられるように曲名、作曲者名を伏せておく。</p> <p>○話し合いをするために付箋紙を使うことを言う。</p> <p>○話し合いをするために付箋紙を使うことを言う。</p> <p>○話し合いをするために付箋紙を使うことを言う。</p>	<p>エ①：様々な楽器の音の特徴に気付いたり、音楽を聴いて思いを浮かべたり風景を想像したりしながら、音楽全体のイメージを感じ取って聴く。[表情や態度の観察][ワークシートの記述]</p> <p>◎楽器の音や組み合わせから曲を感じ取り、イメージを広げながら聴いている。</p> <p>◎楽器の音や組み合わせから曲を感じ取り、イメージを広げながら聴いている。</p> <p>◎楽器の音や組み合わせから曲を感じ取り、イメージを広げながら聴いている。</p>
	<p>◎雅楽「越天楽」を聴いたり、「越天楽今様」を歌ったりして、日本の音楽の雰囲気を感じ取る</p>		<p>ア②：環境音を聴く活動で行った感じ方を鑑賞に生かしながら、関心をもって聴こうとしている。[表情や態度の観察][ワークシートの記述]</p>

見通し	<p>○雅楽「越天楽」を聴いて楽器の音や曲の感じから思いを浮かべたり風景を短い言葉でワークシートに書く。</p> <p>○友達の発表を聞く。</p> <p>○雅楽「越天楽」について知る。</p> <p>○演奏場面の映像を見ながら再度鑑賞する。</p> <p>○「越天楽今様」を聴いたり歌ったりする。</p>	<p>○自分の感じて方と違うもの注目に新たな視点にできるよ</p> <p>○雅楽について簡単に説明した映像による観る感じ方が新しい。</p> <p>○雅楽「越天楽」と「越天楽今様」の共通点やイメージを重ねたりする。</p> <p>○自然で無理のない声で歌えるようにする。</p>	<p>の内容] [グループでの活動の様子] 鑑賞する音楽を集中して聴いており、ワークシートにもたくさん自分の内容を書いている。</p> <p>●集中力の持続しない児童には、環境音を聴いて感じ取った内容を振り返り、注意深く聴くように声をかけを返す。</p> <p>イ②：感じたことを友達と話し合うことにより、感じ方を広げようとしている。[表情や態度の観察] [ワークシートの記述]</p> <p>○いろいろな視点からの感じ方をワークシートに書いている。</p> <p>●感じ方の広がらない児童には、聴く視点の与えてそれを手がかりに自分で分接する。</p>
5	<p>◎環境音から想像した風景や思いを「越天楽今様」で表現する</p> <p>○グループで好きな環境音を選び、その音から浮かぶ思いや想像する風景を話し合う。</p> <p>○音楽を聴いて浮かべたイメージをもとにして、この曲にふさわしい楽器を選ぶ。</p> <p>○グループの思いが伝えられるような楽器の組合せや歌詞を考える。</p> <p>○どのように表現を工夫するのか、工夫するポイントを話し合う。</p>	<p>○楽器の組合せ、演奏の構成や演奏法など、工夫するポイントを示す。</p> <p>○グループの思いが伝えられるように準備する。</p> <p>○音楽の表現についての、図形や楽譜など自分たちで分かる記譜方法を伝える。</p>	<p>イ③：自分の表現したいことのイメージをもち、楽器の組合せや多様な表現の仕方を考えている。[話し合いの態度や発言の様子] [ワークシートの記述]</p> <p>○いろいろな発想を発言し、みんなの意見を調整している。</p> <p>●楽器や表現方法が浮かばない児童には、ワークシートに書いた内容を振り返らせて心に残った音や浮かんだ思いを思い出してみようように声をかける。</p>
6	<p>◎自分なりのイメージの追求をし、表現の工夫をしながら練習する</p> <p>○練習計画や目当てに沿って、自分なりの表現を工夫しながら練習する。</p>	<p>○目当てをもって練習に取り組めるようにする。</p> <p>○いろいろな奏法を支援する。</p> <p>○うまく練習できなかったり、演奏につまずいている児童には相談のつたり一緒に演奏したりする。</p>	<p>ア③：自分のイメージを表現するために、目当てをもって意欲的に練習に取り組んでいる。[表情や態度の観察] [演奏への取組]</p> <p>○自分の表現したいイメージに近づくように様々な方法で、工夫を加えながら演奏練習に取り組んでいる。</p> <p>●目当てのもてない児童には、どのように表現したいのかを確認し、つまずいている部分を一緒に解決する。</p>
7	<p>◎曲の構成、音色、音のバランスなどを考え、グループで協力して練習する</p> <p>○個人やグループで決めた練習のポイントに沿って練習する。</p> <p>○発表に向けて通して練習し、うまくいかなかった所を改善する。</p>	<p>○個人やグループの練習の目当てをもって練習に取り組めるようにする。</p> <p>○自分たちの工夫点や、伝えたいイメージが分かるように演奏されているか確認する。</p> <p>○グループごとに演奏についての支援をする。</p> <p>○次時の発表への意欲付けをする。</p>	<p>ウ①：声や楽器、環境音などを組合せ、曲の構成などを工夫して多様な音楽表現を楽しんで演奏している。[演奏の工夫] [話し合いでの意見] [ワークシートの記述]</p> <p>○自分の工夫したことを友達に紹介したり、一緒に考えたりし、表現の追求をしながら楽しく演奏している。</p> <p>●工夫の分からない児童には、どのように演奏したいのかを確認し、そのための工夫や演奏のアドバイスを</p>
8	<p>◎表現を工夫しながら演奏発表をしたり、各グループの表現を感じ取りながら楽しく聴いたりする</p> <p>○「越天楽今様」の演奏を発表し合い、聴いた感想を交流する。</p> <p>○自分たちの演奏について振り返る。</p> <p>○学習全体のまとめをする。</p>	<p>○演奏の仕方や表現の工夫などよい聴き方の観点を示す。</p> <p>○各グループの表現意図をイメージを広げながら聴くようにする。</p> <p>○教師は、発言されなかつた点を賞賛したり、感想を述べたりし、演奏後の成就感を高めるようにする。</p>	<p>イ④：友達の表現のよさや表現意図を感じ取り、自分なりのイメージを豊かに膨らませている。[発言] [ワークシートの記述]</p> <p>○聴く観点に沿って聴くことができ、進んで感想を発言している。</p> <p>●よさや感じたことが書けない児童には、その児童にに応じて書けそうな内容を支援する。</p> <p>ウ①：声や楽器、環境音などを組み合わせ、曲の構成などを工夫して多様な音楽表現を楽しんで演奏している。[演奏の様子] [ワークシートの記述]</p> <p>○グループ全体の様子をつかみながら自分の表現意図がみんなに分かるように演奏している。</p> <p>●自分の表現意図をうまく表現できなかった児童には、うまくいかなかった原因を考え、次に生かせるように一緒に振り返る。</p>

6 指導案の展開(抜粋)

本時の学習（1時間目）

(1) 本時の目標

生活音や自然の音などを意識して聴き、音から思いを浮かべたり風景を想像したりしてイメージを広げ、感じたことを話し合う。

(2) 準備

教師：環境音のCDとビデオ、付箋紙、画用紙、マジック 児童：ワークシート

(3) 展開（本時は8時間抜きの1時間目）

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点	評価の観点、具体的評価規準 □ 具体的に判断する場面と方法 ◎十分満足できると判断する状況 ●努力を要する児童への働きかけ
つかむ	○題材や、本時の学習内容についての説明を聞く。 ○環境音（生活音）を聴く活動を行う。 ・音楽室で聞こえる音を意識して聴き、聞こえた音をワークシートに書く。 ・児童玄関で聞こえるあらゆる音をワークシートに書く。 ・友達と聞こえた音について話し合い、聴き取れなかった音を赤で書き足す。	20分	・題材の全体の流れを話し、意欲付けを図る。 ・意識して音を聴き取り、様々な音の発見をする活動であることを伝える。 ・場所によっても聞こえる音が違うことが分かるように、教室で聴いた後、児童玄関に行き、同じ活動をする。 ・友達が聴き取った音を書き足すことで、生活の中の様々な音の発見ができるように意識付けをする。	ア① 様々な環境音を聴くことに関心を持ち、進んで聴き取ろうとしている。 [表情や態度の観察] [発言] [ワークシートの記述] ◎様々な音を集中して聴き取る楽しさが態度に現れ、ワークシートにもたくさんの内容が書かれている。 ●集中して聴き取ることができない児童には、興味をもって聴けるような声かけする。
追求める	○環境音（自然の音）を聴く。 ・「河原で鳴く虫の声」を聴いて聞こえた音の他に、音から感じた思いや浮かぶ風景をワークシートに短い言葉でメモ書きし、それを付箋紙に書く。 ・メモ書きした付箋紙を持ち寄り、グループで感じたことを出し合い、同じ視点ごとにまとめる。 ・聴いた音がどのような場面の音なのかを知り、話し合いで意見をもとにもう一度聴き、音の感じ方を広げる。	20分	・音楽室へ戻り、音を聴く活動についての説明をする。 ・ワークシートに記入する際は、思いのまま短い言葉でメモ書きをするように言う。 ・話し合いをするために付箋紙を使う。 ・様々な感じ方を内容ごとにまとめられる視点・聞こえた音 ・浮かべた思い ・想像した風景 ・違う感じ方があった場合、その感じ方に注目させて、再度聴くときの新たな視点にできるようにする。 ・新たに聴き取った音や感じたことをワークシートに書き足し、感じ方の広がり意識できるようにする。	イ① 様々な環境音の音色や音質の違いや特徴を感じ取り、音や音楽から自分なりのイメージをもっている。 [表情や態度の観察] [ワークシートの記述] ◎いろいろな視点から感じ取ることができ、ワークシートにたくさんの内容が書かれている。 ●感じ取ることが苦手な児童には聴き取る視点を言い、その視点で聴いてみるように声をかける。
まとめる	○音を聴く活動について自己評価をする。	5分	・本時のまとめをし、話し合いによって音の聴き方が広がったことを意識できるようにする。	

本時の学習（2時間目）

（1）目標

自然の音や日本の音などを聴き、感じ取ったことを交流し、聴き方の視点や感じ方を広げて、音を感じ取る楽しさを味わう。

（2）準備

教師：環境音のCDとビデオ、付箋紙、画用紙、マジック

児童：ワークシート

（3）展開（本時は8時間扱いの2時間目）

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点	評価の観点、具体的評価規準 [] 具体的に判断する場面と方法 ◎十分満足できると判断する状況 ●努力を要する児童への働きかけ
つかむ	○本時の学習内容についての説明を聞く。	5分	・前時の学習を振り返り、本時の学習に生かせるようにする。 ・前時の学習と同じように音を聴き取っていくことを伝える。	ア① 様々な環境音を聴くことに関心を持ち、進んで音を聴き取ろうとしている。
追求める	○環境音（自然の音）を聴く。 ・「風鈴と蝉時雨」の音を聴いて聞こえた音や、感じた思いや音から浮かぶ風景をワークシートにメモ書きする。 ・メモ書きしたものを付箋紙に書く。 ・メモ書きした付箋紙を持ち寄り、グループで感じたことを出し合い、同じ内容ごとにまとめる。 ・聴いた音がどのような場面の音なのかを知り、話し合いをもとにもう一度聴き、音の感じ方を広げる。 ○いろいろな環境音を聴く。 ・いろいろな環境音を聴き、何の音なのかを当てたり、感じ取ったりする。 (聴く音：機織りの音、水琴窟、ししおどし、潮騒、お寺の鐘、花火、祭り囃子)	20分	・思い浮かんだことを何でも思いついたまま短い言葉でワークシートにメモ書きしていく。 ・話し合いをするために付箋紙を使うことを言う。 ・感じたことを出し合い、同じ視点ごとにまとめていく。違う感じ方があった場合、その感じ方に注目させて再度聴く時の新たな視点にできるようにする。 ・話し合いをした後、音の場面を映像で見ることで、新たに聴き取ったことや感じたことをワークシートに書き足し、聴き方の視点や感じ方の広がり意識できるようにする。 ・表現活動への参考になるように、いろいろな音を聴き、音からイメージを自由に広げられるようにする。	[表情や態度の観察][ワークシートの記述][話し合い] ◎様々な音を集中して聴き取ろうとしていたり、音を聴き取る楽しさが態度に現れ、ワークシートにもたくさんの内容が書かれている。 ●聴き取れた音が少なかったり、集中力の持続しない児童には、友達の意見から聴き取る視点を見付けられるように声かけする。 イ② 感じたことを友達と話し合うことによって、様々な感じ方があることを知るとともに、感じ方を広げようとしている。 [話し合いの様子] [ワークシートの記述] ◎いろいろな視点からの感じ方をワークシートに書き、積極的に話し合いに参加し、友達からの意見から新たな感じ方を見付けられている。
まとめる	○音を聴く活動について分かったことをまとめ、感想を述べる。	5分	・話し合いによって音の感じ方が広がったことを意識できるようにする。 ・環境音を聴く活動を振り返ったり、次の活動の意欲付けをしたりする。	●友達との話し合いに消極的な児童には、友達の意見をよく聴き、自分の感じ方と比較し、違いが発見できるように声をかける。

本時の学習（3時間目）

（1）目標

「春の海」の音楽から、思いを浮かべたり風景を想像したりしながら聴き、交流することで感じ方を広げるなどして、日本の音楽を心で感じ取る。

（2）準備

教師：春の海のCDとビデオ、付箋紙、画用紙、マジック

児童：教科書、ワークシート

（3）展開（本時は8時間抜きの3時間目）

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点	評価の観点、具体的評価規準 [] 具体的に判断する場面と方法 ◎十分満足できると判断する状況 ●努力を要する児童への働きかけ
つかむ	○本時の学習内容についての説明を聞く。	5分	・前時の学習を振り返り、本時の学習に生かせるようにする。 ・前時の学習と同じように音を聞き取っていくことを伝える。	エ① 様々な楽器の音の特徴に気付いたり、音楽を聴いて思いを浮かべたり風景を想像したりしながら、音楽全体のイメージを感じ取って聴く。[表情や態度の観察] [ワークシートの記述]
追求める	○「春の海」を聴く。 ・「春の海」を聴いて、聞こえた楽器の音や、曲の感じから浮かぶ風景、感じた思いをワークシートにメモ書きする。 ・メモ書きしたものを付箋紙に書く。 ・付箋紙を持ち寄り、グループでそれぞれが感じた内容を出し合い、同じ感じ方ごとにまとめていく。 ・「春の海」について知る。 ・グループで話し合ったり、曲について説明を聞いたりした後、新しい視点をもとにもう一度聴き、新たに気付いたことや感じたことをワークシートに書く。	35分	・自由にイメージを広げられるように、曲名、作曲者名を伏せておく。 ・思い浮かんだことを何でも思いついたまま短い言葉でワークシートにメモ書きしていく。 ・交流するために付箋紙を使う。 ・様々な感じ方を内容ごとにまとめられるよう、まとめ方の視点を提示する。 視点・聞こえた音 ・浮かべた思い ・想像した風景 ・違う感じ方があった場合、その感じ方に注目させて、再度聴くときの新たな視点にできるようにする。 ・曲名や作曲者、楽器や曲の構成について簡単に触れる。 ・話し合い後、「春の海」のビデオを視聴しながら、いろいろな視点から新たに感じたことをワークシートに書くことにより、感じ方の広がり意識できるようにする。	◎楽器の音や組合せから曲を感じ取り、音楽全体のイメージを広げながら聴いている。 ●イメージが感じ取れない児童には、環境音を聴く活動で感じ取ったことを生かして聴くように声をかける。 イ② 感じたことを友達と話し合うことによって、様々な感じ方があることを知り、新たな視点で感じ方を広げようとしている。[表情や態度の観察] [ワークシートの記述] [グループでの活動の様子] ◎感じたことを進んで発言し、自分が感じなかったことを友達の意見から発見し、新たな感じ方を広げている。
まとめる	○本時のまとめをし、学習を振り返り自己評価をする。	5分	・自己評価をすることで、イメージをもって聴くことの楽しさを感じたり、話し合いによって音の聴き方が広がったりしたなどを意識できるようにする。	●友達との話し合いに消極的な児童には、友達の意見をよく聴き、自分の感じ方と比較し、違いが発見できるように声をかける。

本時の学習（4時間目）

（1）目標

雅楽「越天楽」の音楽から思いを浮かべたり風景を想像したりするなど、イメージを広げながら聴いたり、越天楽今様を歌ったりして、日本の音楽に親しむことができる。

（2）準備

教師：「越天楽」のCDとビデオ、掲示物

児童：教科書、ワークシート

（3）展開（本時は8時間扱いの4時間目）

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点	評価の観点、具体的評価規準 [] 具体的に判断する場面と方法 ◎十分満足できると判断する状況 ●努力を要する児童への働きかけ
つかむ	○本時の学習内容についての説明を聞く。	5分	・前時に鑑賞した「春の海」についての学習を振り返り、自然と音楽とのかかわりについてふれ、本時の学習に関連できるようにする。	エ① 様々な楽器の音の特徴に気付いたり、音楽を聴いて思いを浮かべたり風景を想像したりしながら、音楽全体のイメージを感じ取って聴く。[表情や態度の観察][ワークシートの記述]
追求する	○雅楽「越天楽」を聴く。 ・「越天楽」を聴いて、聞こえた楽器の音や、曲の感じから浮かぶ風景、感じた思いをワークシートにメモ書きする。 ・友達の意見を聞く。 ・「越天楽」について知る。 ・演奏場面の映像を見ながらもう一度聴き、新たに気付いたことや感じたことをワークシートに書く。 ○「越天楽今様」を聴く。 ・「越天楽今様」を聴いて気付いたことをワークシートに書く。 ・ワークシートことを発表する。 ・「越天楽今様」を歌う。	↑ 20分 ↓ ↑ 15分 ↓	・自由にイメージを広げられるように、曲名、作曲者名を伏せておく。 ・思い浮かんだことを何でも思いのまま短い言葉でワークシートにメモ書きしていく。 ・友達の意見を聞いて違う感じ方があった場合、その感じ方に注目させて、再度聴くときの新たな視点にできるようにする。 ・曲名や楽器について説明する。 ・曲の説明を聞いたり、映像を見たりしたこと、分かったことや新たに感じたことをワークシートに書くことにより、感じ方の広がり意識できるようにする。 ・「越天楽」との共通点や相違点を感じ取れるようにするために曲名は伏せておく。 ・「越天楽今様」について簡単に説明する。 ・発声の仕方については自然な無理のない声で歌うようにする。	◎楽器の音や組合せから曲を感じ取り、音楽全体のイメージを広げながら聴いている。 ●イメージが感じ取れない児童には、環境音を聴く活動で感じ取ったことを生かして聴くように声をかける。 イ② 感じたことを友達と話し合うことによって、様々な感じ方があることを知り、新たな視点で感じ方を広げようとしている。[表情や態度の観察] [ワークシートの記述] [グループでの活動の様子] ◎感じたことを進んで発言し、自分が感じなかったことを友達の意見から発見し、新たな感じ方を広げている。
まとめ	○本時のまとめをし、学習を振り返り自己評価をする。	5分	・自己評価への記入の様子を見て、次時の学習への意欲が高まるように賞賛したり励ましたりする。	●友達との話合いに消極的な児童には、友達の意見をよく聴き、自分の感じ方と比較し、違いが発見できるように声をかける。

本時の学習（5時間目）

（1）目標

環境音を聴いて感じた学習からグループで表現したい風景や音を決め、楽器を選んだり歌詞を考えたりして、自分たちなりの「越天楽今様」を表現するための計画を立てる。

（2）準備

教師：「越天楽今様」のCD、楽器（こと、リコーダー、キーボード、ウインドチャイム、締太鼓、鉦、鈴など）

児童：教科書、ワークシート

（3）展開（本時は8時間扱いの5時間目）

過程	学習活動	時間	支援及び指導上の留意点	評価の観点、具体的評価規準 □ 具体的に判断する場面と方法 ◎ 十分満足できると判断する状況 ● 努力を要する児童への働きかけ
つ	○前時の学習を振り返り、「越天楽今様」を歌ったり本時の学習についての説明を聴いたりする。	5分	・前時に聴いた「越天楽」と「越天楽今様」の学習を振り返り、今様の歌詞は春の季節を歌ったものであることを確認する。 ・本時は「越天楽今様」をグループごとに楽器や歌で表現するための計画を立てることを伝える。	
追 求 す る	○「越天楽今様」を表現するための計画を立てる。 ・提示された計画の段階に沿ってグループで話し合う。 ・自分たちの思いが伝えられるような楽器を選んだり、歌詞を考えたりする。	35分	・計画の段階を説明する。 段階 ①1, 2時間目に聴いた環境音から浮かべた風景や思いを思い出し、グループで表現したい場面を決める。 ②その場面の環境音をどんな楽器でどのように表現するかを決める。 ③越天楽今様の楽譜を参考にし、旋律や対旋律の楽器を決める。 ④環境音をどこでどのように組み合わせるか決める。 ⑤楽器の分担を決める。 ⑥環境音を通して自分たちの伝えたい風景や思いを歌詞にする。 ・楽器や音の素材の組合せ方、演奏の構成、奏法など工夫するポイントを支援する。 ・音の表現については図形楽譜などのように、自分たちでわかる記譜方法でよいことを言う。	イ③ 自分の表現したい思いやイメージをもち、楽器の組合せや多様な表現の仕方などを考えている。 [話し合いの態度や発言の様子] [ワークシートの記述] ◎いろいろな発想を発言し、みんなの意見を調整している。 ●楽器や表現方法が浮かばない児童には、ワークシートに書いたことを振り返らせて、心に残った音や浮かんだ思いを思い出してみるように声かけする。
ま と め る	○次時の学習内容を確認する。	2分	・次の時間から練習できるように練習の仕方や場所などについて予告しておく。	

いろいろな音を聞く学習 ①

活動1 音楽室で聞こえる音を聴いてみよう。
どんな音が聴こえるかな。


(じっくりと耳をすませて聴いてみよう。)

聞こえた音

活動2 他場所で音を聴いてみよう。どんな音が聴こえるかな。友達と確かめてみよう。友達から教えてもらった音を赤で書かしてみよう。

場所 児童げんかん

聞こえた音



友達から教えてもらった音

いろいろな音を聞く学習 ③



聞こえた音や感じた思い、浮かぶ風景を書いてみよう

① の音 ⑤ の音

② の音 ⑥ の音

③ の音 ⑦ の音

④ の音 ⑧ の音

いろいろな音を聴く学習 ②

活動4

の音を聴いてみよう

1回目

話し合い

2回目 新たに感じたことを書き足してみよう

活動5 音を聴く活動をしたことで何か分かったこと、気が付いたことがありますか。



自己評価

しっかり音を聴いたり音からイメージが広げられた	A B C
友達のイメージを参考にして新たな感じ方ができた	A B C

いろいろな音を聴いた学習を生かして音楽を聴いて感じてみよう。

曲名

1回目：聞こえる楽器の音、感じた思い、音から浮かぶ風景を書いてみよう

話し合い

2回目：もう一度聴いて新しく感じたことを書き足してみよう

自己評価

いろいろなイメージを広げられた	A B C
友達の感じ方を参考に新たな感じ方を広げられた	A B C
楽しく鑑賞できた	A B C

音楽ワークシート 5時間目
「越天楽今様」を表現しよう



1 好きな環境音を選んで浮かぶ思いや風景の中から表現したい場面を話し合おう

選んだ環境音：

浮かぶ思いや風景：

表現したい場面：

表現したい内容を歌詞にしてみよう：

2 歌や楽器で表現しよう

(1) 使う楽器

(2) 楽器や歌の分担

音楽ワークシート 7時間目
「越天楽今様」を表現しよう



1 グループの練習計画を立てよう

2 今日の練習を振り返って、よくできたところ、うまくいかなかったところを話し合おう

自己評価をして次回の発表に生かそう

練習計画通りに協力して練習できた	A B C
自分の工夫した所がみんなに伝わるように演奏できた	A B C
強弱、間、速さに気を付けながら演奏できた	A B C
つかえずに最後まで演奏できた	A B C

音楽ワークシート 6・7時間目
「越天楽今様」を表現しよう



1 個人の目当て

(1) 自分の担当する楽器

(2) 自分の担当する楽器で、どのように表現を工夫したいですか

2 グループでの話し合い

○話し合いの視点

・曲（歌詞）のどの部分にどのように環境音を組み合わせるか

・前奏、間奏、後奏、繰り返しをどのように入れるか

・強弱、間、速さはどのくらいにするか

○演奏確認の視点

・音のバランスは大丈夫か

・いつも間違えるところやうまくいかないところはないか

・自分たちが表現したいことが十分伝わるように演奏できているか

音楽ワークシート 8時間目
自分たちの「越天楽今様」を発表しよう

グループの演奏を聴こう

〈聴き方〉

・演奏の仕方や表現の工夫など、よいところを見付けながら聴いてみよう

・グループで表現した内容を感じ取り、自分なりにイメージを浮かべながら聴いてみよう

	感 想
1班	
2班	
3班	
4班	
5班	
6班	

自己評価

表現の工夫をしながら演奏できた	A B C
グループの友達と心を合わせて演奏できた	A B C
各グループのイメージを感じ取りながら聴けた	A B C
友達の演奏のよさを見付けながら聴けた	A B C